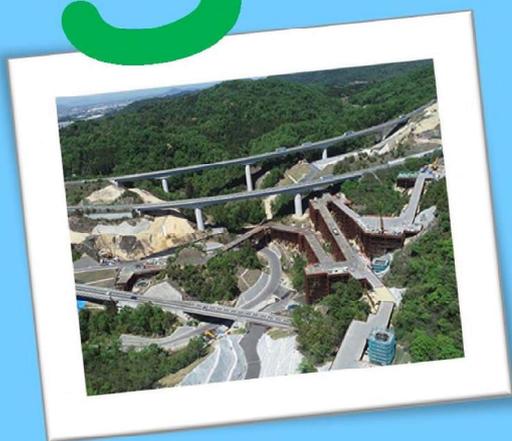


CSR報告書 2023

S



D



G



S

人と、社会と、地球の“みらい”をカタチに

CONTENTS

はじめに	1
企業理念・会社概要	2
社長メッセージ	4
社員座談会	6
部門事業活動紹介	10

2023 年度みらいの活動報告

みらいのサステナビリティ	13
エコ・ファースト企業としての取り組み	14
みらいの環境	20
みらいの働き方	24
みらいの人材育成	26
みらいのものづくり	28
2023 年度 完成工事紹介	32
工事紹介	34
事業所一覧	42



はじめに

CSR報告書 編集方針

この報告書は、当社に関する皆様に、社会環境活動・企業活動をできるだけ分かり易くお知らせすることを目的として作成しています。

当社は、社会のインフラ整備を生業とする建設会社であり、お客様の満足する高品質の製品を提供し、自然環境の創造と保全に努め、社業の発展を通じて社会に貢献することを使命とする環境にやさしく創造的な会社と考えています。

本報告書を通じて、当社の社会環境活動・企業活動をご理解頂き、忌憚のないご意見を頂けますようお願い申し上げます。

報告書の対象期間

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）

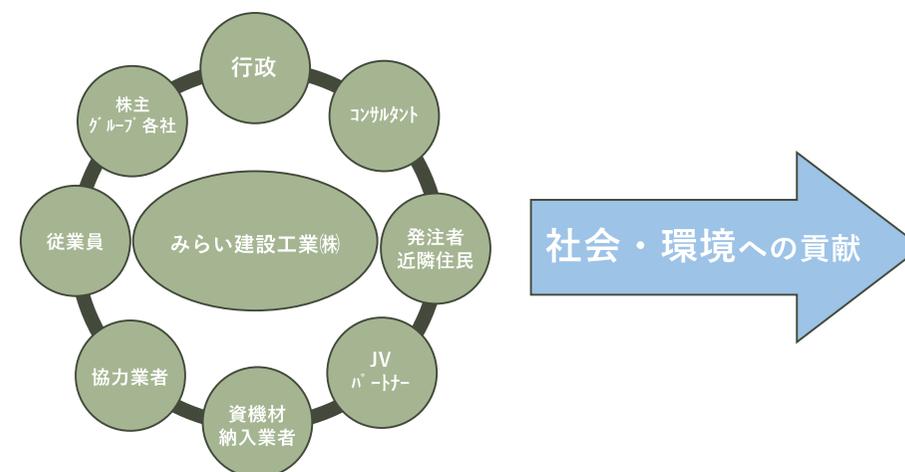
発行月

2024年7月

作成部署

安全品質環境本部 品質環境部

社業の発展を通じて社会・環境に貢献してまいります。



▲品質・環境におけるステークホルダー

みらいの企業理念

企業理念

経営目標

我が社にかかわる多くのステークホルダーに「より高い満足感」を感じてもらえるような、ユニークなグッドカンパニーを目標とする。

経営姿勢

経営目標達成のため、よりビッグでよりハイプロフィットなカンパニーを目指す。ただし、自然や社会との共生を計り、不正や不当な手段による社益の追求は勿論、浮利を追うなど利益第一主義に陥ってはならない。

存在意義

我が社は創意工夫と確かな技術のもと、自然環境の創造と保全に努め、お客様の満足する高品質の製品を提供し、もって社業の発展を通じて社会に貢献することを使命とするC&C*カンパニーである。

*Clean & Creative=環境に優しく創造的な

会社概要

- 本社 〒108-0014 東京都港区芝四丁目 6 番 1 2 号
- 代表者 代表取締役社長 石橋 宏樹
- 資本金 2 5 億円
- 建設業許可 特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-3) 第 5 6 7 8 号
- 登録・許可 建設コンサルタント登録 国土交通大臣登録(建01) 第2034号
測量業者登録 国土交通大臣登録 第(12) - 6744号
宅地建物取引業者登録 東京都知事登録 第(5) 81837号
一級建築士事務所登録 東京都知事登録 第51761号
産業廃棄物収集運搬業許可 大阪市長許可 第6600109774号
- 認証 ISO 45001 労働安全衛生マネジメントシステム
ISO 9001 品質マネジメントシステム
ISO 14001 環境マネジメントシステム ※船舶事業部を除く

我が社が属している企業グループ (高松グループ)における長期ビジョン

TCG 2030 vision

地域のあらゆる人々の「もの」と「ところ」の幸せに貢献する
相互信頼と絆のネットワークからのご縁を大切に、
TCGの原点である「C&C (Consultant & Construction)」を体現し、
地域のあらゆる人々の「もの」と「ところ」の幸せに繋がる
『循環型・持続型社会インフラ』の創生に貢献するソリューションを提供している
グループビジョンを支える価値観

相互信頼と絆を
大切にす



社員と組織の成長を
一致させる



人々が幸せに暮らせる
未来に貢献する



TCG 2030 vision を目指すための基本方針

事業成長

ソリューション提供型企業への脱皮

グループ各社の無形資産の棚卸から、有機的な結合による新たなソリューションを開発し、軌道に乗せている。

ストックビジネスの実現

バリューチェーンの拡張によって、建設物を媒介とした顧客の生涯利益を最大化するストックビジネスを実現し進化させている。

組織経営

トップクラスのホワイト企業への挑戦

トップクラスのホワイト企業を目指す取組が各社で推進され、「働く喜びと成長を実感できる組織」となっている。

グループ経営基盤の確立

グループ各社の人材・資金・技術の最適連携を目指すプラットフォームが機能し、個社とグループの成長を同期化できている。

みらいの中期経営計画

全社員のスキルアップ

環境への取り組み

社員のエンゲージメント向上

再生可能エネルギー・
環境配慮型事業への取り組み

事業の充実・
ビッグプロジェクトへの参画

社長メッセージ



代表取締役社長
石橋 宏樹



今を創り、
『みらい』を育てる

当社は、海上や陸上の大型土木工事を手掛ける総合建設会社として広く認識されております。

建設業が担う社会的な役割に対して、当社も大きな使命を持って社会に貢献しております。その使命とは以下に記すとおりです。

一つ目は、「国土と国民の命を守る」ことです。海に囲まれた海洋国家であり、地震や津波が多い我が国では、防波堤などの港湾構造物が国土を守るための大きな役目を担っています。港湾整備は、災害から国民の命とその財産を守るために必要不可欠な事業です。また、台風や集中豪雨などによる災害発生時においては、住宅地の高台移転やインフラ復旧工事は、人々が生活を維持していくうえで無くてはならないものです。その他、防災・減災のための、既設構造物の耐震補強工事や、河川の堤防工事、沿岸部の防潮堤工事などは、重要な事業です。

二つ目は、「事業を通じて社会に貢献する」ことです。建設業は、港湾、空港、道路、鉄道、農地、上下水道、そして住宅や公園など、人々が安心して生活できる、豊かな暮らしの基盤を築いています。また、環境保全の観点から、再生可能エネルギー事業も非常に重要となっています。これまでも、そして、これからも、我が国の永続的基幹産業として建設業の担う使命が変わることはありません。

三つ目は、企業として地球温暖化防止に努めることです。脱炭素社会の実現のため、Co2削減の対策を講じます。また、循環型社会の実現に向け廃棄物の抑制や再資源化を促進するとともに生態系保全のため、海洋汚濁防止や清掃ボランティア活動・環境教育に積極的に取り組みます。さらに会社をあげて再生可能エネルギー事業にも取り組んでいます。

最後になりますが、天然資源に乏しい日本が世界で生き残っていくためには、先人たちが築き上げてきたように、これからも技術立国であり続ける必要があります。

私たちは、日本のみらいを創造する「土木工事のパイオニア」として、歩み続けます。



社員座談会

若手技術者・所長経験者



施工管理を経験したことで何か変わりましたか？

①所長として務めた工事が無事に完工し、達成感と同時に中堅層が少ない会社ですので、自分たち若手が引っ張っていかねばという気持ちが強くなりました。

②自分の経験と知識が増えると同時に協力会社の皆さんとの会話もできるようになり、やりがいを感じてきています。1級土木施工管理技士の資格を取得し、監理技術者として現場運営をしたいと思うようになりました。

③若手の社員がいる現場なのでコミュニケーションが良くとれています。日々の業務は大変ですが、週末も一緒に過ごせる仲間ができて、業務をやり遂げる意欲が増しました。資格取得も頑張ります。



会社に対する要望はありますか？

①現場は書類管理と施工管理があり、得意不得意があるので専門性を活かせる配置にしてほしいです。

②若手所長・監理技術者経験者の処遇改善をしてほしいです。

③外国人技術者についても、母国へ帰省する際などは、有給休暇が取り易い環境がありますが、各国の祝日祭日に合わせた長期休暇が取れる制度があると嬉しいですし、帰省旅費負担制度があると助かります。

工藤施工本部長からの回答

①若手社員の皆さんには経験と知識を積んでもらいたいので、得意不得意に関係なく経験をしてもらいたいと思っています。

②処遇改善はおこなっていきます。

③外国人社員の皆さんの休暇取得、帰省旅費制度については今後検討していきます。



若手技術職社員



キャリアプランやライフプランについてはどう考えていますか？

①所長・監理技術者の経験を積むことはもちろんですが、後輩の指導・教育も頑張りたいです。

②結婚についても考えています。

③家庭を持ったことで責任感が増す一方で、安心感も感じています。



若手女性社員



女性活躍推進や育児・介護休暇制度の活用についてはどう思いますか？

①育児休暇を取得する予定ですが、復帰するまでのフォローアップがあると嬉しいです。

②女性社員の子育てと仕事の両立については、ロールモデルが少ないので、私たちの経験が後輩のロールモデルになると考えています。

③育児休暇から復帰するには保育園問題があります。遠くない「みらい」に育児室が設置され、子ども同伴で出社できると嬉しいです。



ホワイト企業を目指して多様化する働く環境についてはどうですか？

①海の現場は、施工時間が海象気象状況と日の出・日の入りに左右されるので、フレックス制度などがあると嬉しいです。

②マスター社員(60歳以降)・外国人社員と人材も多様化しているのでコミュニケーションをはかる機会があると嬉しいです。



社員座談会

外国人技術職社員

ここ数年で外国人社員が増えていますが、外国人社員同士のコミュニケーションは取れていますか？



- ①同じ国出身の方がいるので、コミュニケーションを取っています。
- ②他国出身の社員とも交流する機会があるので楽しみにしています。
- ③みらいに在籍している外国の皆さんは、とても親切なので、楽しくお話ができています。



新入社員 技術職・事務職

入社する前と後では、みらいのイメージはかわりましたか？

- ①入社する前は不安でしたが、先輩社員の方々がとても優しく接してくれるので、楽しく仕事ができています。
- ②入社前にお会いした人事の方が親切で丁寧に対応してくれましたが、入社後も先輩方がとても優しく接してくれています。



みらいの「みらい」に向け、
トップクラスのホワイト企業をめざして、
若手社員のさらなる活躍を期待しています！



部門事業活動紹介



営業本部

専務執行役員 営業本部長 営業部門統括
寄能 達也

営業本部は、官公庁を対象とした営業を推進していく部門です。公共事業は、「防災・減災・国土強靱化の対策」などにより、今後も堅調に推移するものと思われま。当社の基本テーマ「事業規模拡大のための競争力強化」のもと、厳しい受注環境に勝ち抜くこと、2024年度は、営業本部体制の再構築をおこない、受注関連部門である総合評価部を営業企画部に、積算部を営業推進部に改称し、営業本部に組み入れ、公共工事応札体制の強化をはかりました。当社の最重要セグメントである港湾事業に注力するとともに、空港・高速道路の耐震化などのインフラリニューアル事業、能登半島地震の災害復旧事業の支援に積極的に取り組んでいきます。



ソリューション営業本部

執行役員 ソリューション営業本部長
林田 克則

ソリューション営業本部は、お客様との対話を通して、抱えている課題やニーズをつかみ取り、その問題の解決策（solution）を提案し、お客様と協働できる民間営業活動をおこなっています。社会インフラ整備を主体とし、宅地造成、基盤整備などで社会生活の構築に寄与する工事の受注のほか、環境保全の観点から「再生可能エネルギー事業」に携わり、太陽光発電・陸上風力発電事業の受注拡大を目指し、この再生可能エネルギー事業を通じて地球温暖化防止への貢献に努めていきます。国土強靱化、社会基盤の取組みの営業活動の一つとして、プライベートバスの健全度調査とメンテナンス工事を連携させた「みらい安心バック」を提案し、お客様の安心・安全な施設利用を提供しています。高度成長期に築造されたプライベートバスなどは築50年を経過しており、2030年はこのような施設が全体の7割に達すると言われてい。老朽化の課題を抱えた多くの民間企業のお客様に対し、「みらい安心バック」の浸透を目指した営業活動をおこなっています。



施工本部

常務執行役員 施工本部長
工藤 正

施工本部は、工事部・購買部で構成されており、全国各支店の施工に関する業務の統括管理をおこなっています。パートナーシップ構築宣言のもと各サプライチェーンの取引先とともに建設業の「持続的伸展」を目指した活動を促進しています。工事部では、全社の売上高および売上総利益に係る統括的な年度計画の策定と統括的な年度計画の進捗管理、技術社員の働き方改革の促進、教育指導をおこなっています。教育では社員のスキルに合わせた教育の実施、現場活用ソフトやアプリケーションの実践教育、原価管理、積算等の教育を段階的におこない知識と技術の向上に努めています。また「みらいスタンダード」として現場に①工事（事業）概要看板の設置②快適トイレの設置③仮設事務所への太陽光パネルの設置の3点を現場標準とし、職場環境の改善や環境に配慮した施工、DX化施工を促進し生産性の向上に努めています。購買部では、購買、発注に係る業務をおこなっており、適正な価格による調達を指導、統括することにより工事利益向上に努めています。



安全品質環境本部

常務執行役員 安全品質環境本部長
工藤 正

安全品質環境本部は、安全管理部・品質環境部で構成されており、全国支店の安全・品質・環境に関する業務の統括管理をしています。当本部では安全パトロール実施のほかに環境に特化した環境パトロールの実施、関連する業務のデジタル化をおこない、働きやすい環境づくりを促進しています。また、環境活動・社会貢献・環境保全活動を推進する部門であり、環境大臣認定の「エコ・ファースト企業」の推進も含めて、環境保全活動の促進をおこなっています。安全管理部では安全衛生目標、安全衛生管理計画の策定の他、労働災害、事故に関する分析・事例などを社内展開し、全社の労働安全衛生の向上に努めています。品質環境部では、品質環境目標の策定、カーボンニュートラル（脱炭素）・サーキュラーエコノミー（循環型社会）・ネイチャーポジティブ（環境保全）、SDGs取組み促進をおこなっています。



部門事業活動紹介



技術本部
 常務執行役員 技術本部長
 兼 技術本部エンジニアリング部長
 大本 泰久

技術本部は技術部、研究開発部、エンジニアリング部の3つの部で構成されています。技術部は、主に設計業務や技術検討をおこなっています。特に受注した工事のリスク回避、設計変更のための技術検討は安全と利益に直結するため非常に重要です。エンジニアリング部では、現場の安全性、品質、生産性を高めるための技術を開発しています。これらの技術を国土交通省が運用するNETIS（新技術情報提供システム）に登録することを目指し、繰り返し実証試験をおこなっています。研究開発部はインフラの維持更新技術や環境技術などについて中長期的に開発する部門で、大学や公的機関と共同研究をおこなっています。Co2削減のため破砕ホタテ貝殻や竹を利用した地盤改良、破砕瓦の有効利用の技術開発に力を入れています。また、BIM/CIMの導入と活用については技術本部全体で推進しており、現場支援に確実に対応するとともに、BIM/CIMの専門知識とスキルを習得する技術者教育をおこなっています。



管理本部
 常務執行役員 管理本部長 管理部門統括
 梅津 博幸

管理本部は、経営企画部、経理部、総務部、管理部、人事部からなる管理部門で、本業である土木事業を円滑に回すために、営業や施工の人たちを間接的にサポートする部門です。社内のいろいろな部門との連携が重要となるので、ここ数年は「人材の確保と育成」に注力しています。「ダイバーシティ&インクルージョン」については、女性の活躍推進、外国人の採用など積極的に推進するとともに、LGBTQへの理解に向けた社員教育など、さまざまな取り組みをおこなっています。また、「働き方改革」では、多様な働き方の推進として、テレワークや時差出勤を推進してきましたが、現在はフレックスタイム制の導入を検討しています。多様な働き方を導入すると同時に、コンプライアンスの更なる強化はもう一つの重要施策であり、こちらについても積極的に取り組んでいます。最終的には、当社で働くすべての社員がお互いの多様性を認めながら、コンプライアンス意識を高め、働く喜びと成長を実感できる。そんな職場を目指して日々業務に取り組んでいます。



みらいのサステナビリティ

みらい建設工業株式会社の取り組むSDGs

重要課題		具体的な取り組み・目標
	食品ロス・貧困問題への解決	・フードバンクへの協賛
	伝染病・感染症根絶への貢献	・エコキャップの回収によるワクチンの提供
	人材育成の推進	・CPDSの獲得（継続学習制度CPDS受講推奨） ・階層別教育の実施 ・自己啓発通信教育講座開設 ・資格取得・教育支援
	多様な働き方の推進	・育児、介護、看護休暇の取得
		・時差出勤の実施 ・ダイバーシティな職場づくり
	脱炭素への取り組み	・太陽光発電の現場内利用促進
		・省資源 ・省エネルギー ・電力量の削減
	多様な人材への活躍推進	・外国籍技術者、女性技術者の積極的な採用
	持続可能なインフラ整備・区画整備	・工事施工（完工高）による貢献
	建設廃棄物の再資源の促進	・再資源化実施率：99%（再生処理量/全処理量）
	水質汚濁の防止	・油汚染事故防止 ・海岸清掃活動 ・ペットボトル回収
	地域貢献活動	・ボランティア活動 ・地域清掃活動
	外部機関とのパートナーシップの推進	・民間企業や大学との共同開発の推進 ・協力会社との安全環境活動の実施(合同パトロール等) ・エコファースト企業として、環境活動への参加

エコ・ファースト企業としての取り組み

環境省が企業の環境活動を推進する「エコ・ファースト制度」において2023年4月「エコ・ファースト企業」として認定されました。エコ・ファースト企業として、下記の3つの約束を宣言しています。



エコ・ファーストの約束

—環境先進企業としての地球環境保全の取組み—

環境大臣 **西村 明宏** 殿

2023年 4月 5日
みらい建設工業株式会社
代表取締役 **石橋 宏樹**

みらい建設工業は、持続可能な社会の構築に向け、環境を大切にし、自然環境の保全と創造に努め、また共生・再生をはかりながら、確かな技術で環境に優しく創造的な企業をめざし、以下の取組みを進めて参ります。

1.2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現へ貢献

- 脱炭素社会を実現するための再生可能エネルギー事業に取組みます。
 - 1.再生可能エネルギー事業施工時のCo2排出量30%削減に努めます。
- 建設工事においてCo2排出削減に関連する技術の利用、有効な技術の開発を推進します。
 - 1.有効な技術の利用によりCo2排出量30%削減に努めます。
- 自然エネルギーの活用、低燃費型施工機械・低燃費型連絡車両導入、使用電力削減による温室効果ガスの削減を推進します。
 - 1.2030年度までにCo2排出量30%削減に努めます。
 - 2.2050年度までに温室効果ガス排出量ゼロを推進します。
- Co2削減効果を把握するとともに、ステークホルダーに積極的に情報提供・啓発を行います。
 - 1.2023年度よりスコープ3のCo2排出量の公表を行います。

2.循環型社会への実現への貢献

- 建設発生材の再資源化への取組において7/8アット・コンクリート塊、木くずの再資源化率99%以上を推進し、2035年までに再資源化率100%の達成を目指します。
- 社内オフィス内の分別徹底を行い再資源化を推進いたします。
- 環境パトロールにより取組み状況をチェックし、廃棄物の抑制や循環利用を推進します。
 - 1.すべての施工場所において環境パトロールを実施いたします。

3.生物多様性および生態系保全に配慮し自然共生社会への貢献

- 生物多様性保全に配慮し、生態系を維持するための環境配慮施工を推進します。
 - 1.すべての海洋施工場所において海洋汚濁防止に努めます。
 - 2.すべての施工場所の生態系保存に関する検討を行い保存に努めます。
 - 3.すべての施工場所において絶滅危惧種の保存に努めます。
- 環境意識を高めるための教育および社会活動の取組みを行います。
 - 1.社内教育や現場環境看板掲示にて環境意識の向上に努めます。
 - 2.環境ボランティア活動に積極的に参加し環境活動に努めます。
 - 3.現場見学会を通じて、地域の方・学生への環境教育活動に努めます。
- 環境にやさしい企画、環境配慮設計（提案含む）・施工を推進します。
 - 1.すべて施工において着事前に環境配慮の検討および提案に努めます。

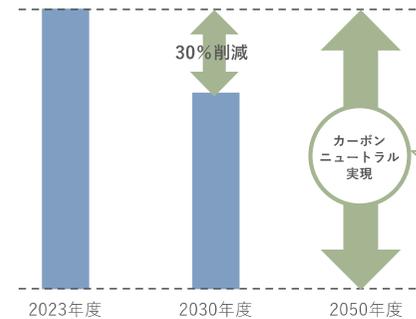
みらい建設工業株式会社は上記取組みの進捗状況を定期的に確認し、環境大臣に報告するとともに、CSR報告書およびホームページによる公表を行って参ります。

今を創り、『みらい』を育てる



みらい建設工業株式会社

1.2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現へ貢献



カーボンニュートラルの実現のために以下の取り組みを実施しています。

- ・自然エネルギーの活用
- ・低燃費型施工機械の導入
- ・低燃費型連絡車両の導入
- ・使用電力の削減

▼カーボンニュートラルへの取り組み事例



ソーラーパネル等の利用

事務所の電力やWEBカメラに使用する電力をソーラーパネルに変更することで、燃料や電力使用量を削減し、Co2排出量を削減に取り組んでいます。



デジタルサイネージの利用

情報共有をデジタル化・効率化することで、紙の使用量の削減や業務の生産性向上に繋げるなど、環境にも働き方にも貢献しています。



海水淡水化装置の利用

浚渫現場において、浚渫土砂とともに排出された泥水を浄化し、手洗い・トイレの水として使用、環境負荷を軽減しました。



ハイブリット車の利用

職員の業務車両をハイブリット式にすることで、Co2排出量削減に取り組んでいます。

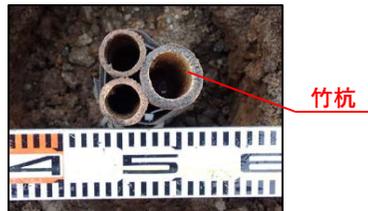
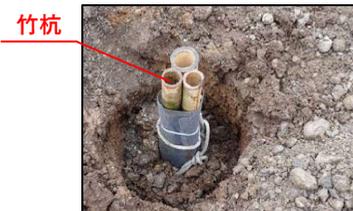
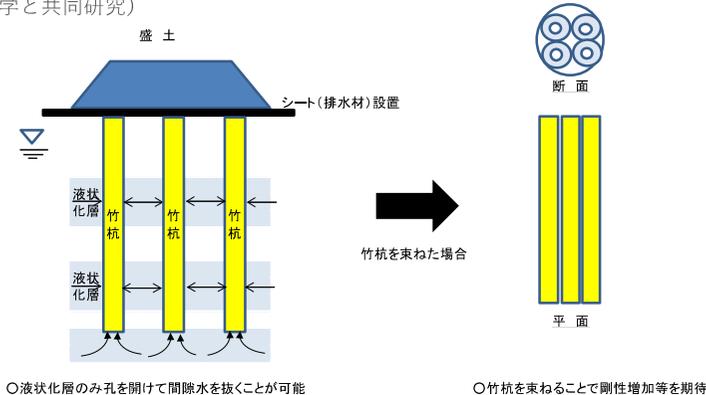
エコ・ファースト企業としての取り組み

●有効な技術の開発の推進

①竹製ドレーン材および液状化対策工法（特許6989900号）

竹はCo2の吸収能力が高く、成長過程で大量のCo2を吸収します。これにより、竹を利用することで建設プロジェクト全体のCo2排出量を削減することが可能です。従来の地盤改良法と比較して、竹を使用することで資源の消費を抑え、環境負荷を軽減することができます。竹の繊維質としての靱性や吸水性に着目して液状化対策技術を開発しています。

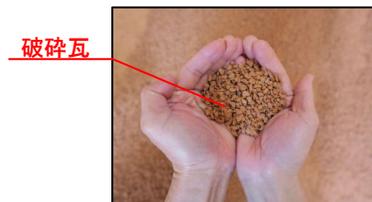
（福岡大学と共同研究）



②破砕瓦を使用した地盤材料への活用技術

建設廃材として捨てられることが多い瓦を再利用することで、新たな資源の採取や輸送に伴うエネルギー消費とCo2排出を減少させることが可能です。従来の地盤材料（砂や砕石など）の採掘と比較して、破砕瓦の再利用は資源の循環利用を促進し、環境負荷を低減します。

破砕瓦は軽量で摩擦性や、支持力が高いなど優れた性能を発揮するため、地盤材料への活用技術を開発しています。



2. 循環型社会への実現への貢献

●環境パトロール

環境事故の防止と環境関連法令違反ゼロ、また環境に関する苦情の発生を防止するために、各支店の建設現場において着工後、できるだけ早期に環境パトロールを実施しています。社長を筆頭にすべての役員により、全国の現場をパトロールしています。



▲社長パトロール実施状況

●建設廃棄物の削減と再資源化の促進

循環型社会形成に向けて、建設廃棄物を分別し、混合廃棄物を削減して、再生率の向上と建設廃棄物の削減に努めています。リサイクル率は99%を推進し継続的に取り組んでいます。

【2023年度建設産業廃棄物排出・詳細処理状況】

	排出数量(t)	最終処分量(t)	再生処分量(t)	リサイクル率
コンクリートがら	29,738.4	281.1	29,457.3	99.1%
アスコンがら	3,979.9	4.5	3,975.4	99.9%
建設汚泥	7,286.1	660.0	6,626.1	90.9%
木くず	1,226.7	740.8	485.9	39.6%
がれき類	1,875.4	155.4	1,720.0	91.7%
廃プラスチック	169.7	127.8	41.9	24.7%
紙くず	9.8	3.0	6.8	69.1%
繊維くず	1.9	1.9	0.0	2.1%
金属くず	24.3	7.8	16.5	67.9%
ガラス陶磁器くず	37.0	35.5	1.5	4.1%
石膏ボード	135.0	109.2	25.8	19.1%
動植物残渣	15.1	15.1	0.0	0.0%
廃油	6.0	5.4	0.6	10.0%
燃え殻	6.8	0.0	6.8	100.0%
混合廃棄物	618.2	481.3	136.9	22.1%
その他計	854.1	659.2	194.9	22.8%
計	45,130.3	2,628.8	42,696.4	94.6%



▼建設廃棄物の発生量とリサイクル率



エコ・ファースト企業としての取り組み

3. 生物多様性および生態系保全に配慮し自然共生社会への貢献

●環境意識の向上

社内教育や現場環境看板掲示にて環境意識の向上に努めています。



●エコとわざコンクールの開催

本社ビルにて、「エコとわざ」コンクール みらい建設工業賞表彰式を開催しました。

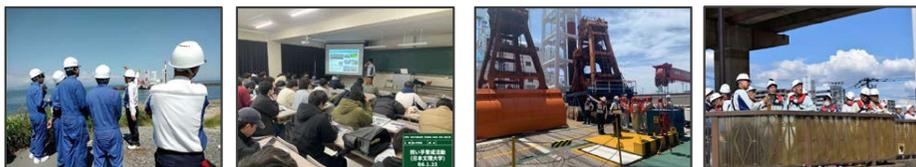
エコとわざコンクールとは、環境省「エコ・ファースト制度」認定企業が加盟するエコ・ファースト推進協議会主催の、環境に関する創作ことわざのコンクールです。

羽島市立竹鼻小学校6年 浅野智恵さんの「いつまでも長生きしてね 青いほし」をみらい建設工業賞に選定、表彰しました。



●環境教育活動の取り組み

建設業と建設現場で働く人について、より良く知って頂くことを目的に現場見学会を行っています。当社の環境活動の取り組み事例についても紹介しました。



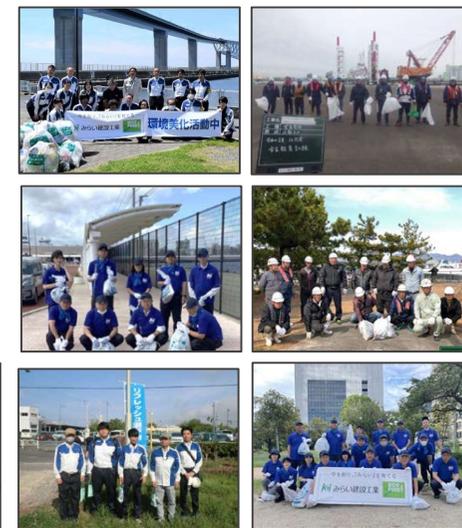
●環境活動の取り組み

全国各地で本社・支店・作業所において環境ボランティア活動に積極的に参加し、社員の環境意識の向上に努めています。

▼2023年度の主な環境活動の取り組み

活動名	支店名
春の海ごみゼロ・ウィーク	本社・東京・中部・九州
港区アドプト・プログラム	本社
'23 春の藤前干潟クリーン大作戦!	中部支店
福島県「道路ふれあい月間」	東北支店
リセッシュ瀬戸内	中国支店
秋の海ごみゼロ・ウィーク	本社・東京・大阪・九州
クリーンアップかまくら	横浜営業支店
ビーチライフin須磨	大阪支店
'23 秋の藤前干潟クリーン大作戦!	中部支店
NPO美しい田園21	東北支店

・・・他 各作業所でも実施



●環境配慮施工の推進

▼藻の着生状況 施工完了時



▼藻の着生状況(近景)



この工事では、生物の環境を守るために基礎捨石及び被覆石はJFEスチール(株)製の鉄鋼ラグ水和固化体製人工石材『フロンティアロック』を使用して施工を行いました。この材料は、通常の自然石と異なり、表面が粗面で藻類が着きやすいと考えられています。

(令和3年度千葉港葛南中央地区航路(-12m)付帯施設改良工事)

みらいの環境

品質・環境マテリアリティ



再生可能エネルギー、環境配慮型事業への取組み

1. 外洋大深度における「新技術開発・技術提携」
2. 陸上風力・太陽光発電事業
3. 「カーボンリサイクル事業」「化石燃料に代わるエネルギー供給施設整備事業」

社員のエンゲージメント向上

1. 働き方改革への継続的な取組み（社内書類簡素化、時短・有給休暇取得の推進）
2. 経営陣と社員代表の定期的な意見交換による、ともに納得感のある経営改善への取組み

社員のスキルアップ

1. 教育の拡充・見直しによる社員能力向上への取組み（会社に貢献できる資格取得に対するサポートの拡充など）
2. 社員のジョブローテーションによるスキルアップへの取組み（ゼネラリスト・スペシャリストの棲み分け、評価基準などを再構築）
3. 若手への技術の伝承を推進する取組み

品質方針

みらい建設工業は、持続可能な社会の構築に向け、「創意工夫」と「確かな技術」の経営姿勢のもと、設計・施工及びアフターケアに至るまで、業務の質の向上に努め、顧客の満足する品質の製品を提供すると共に、高質な社会資本の整備に貢献します。

環境方針

みらい建設工業は、持続可能な社会の構築に向け、環境を大切に守り、自然環境の保全と創造に努め、また共生・再生をはかりながら、確かな技術で環境に優しく創造的な企業をめざします。

参加・認証

●みなとSDGsパートナーへ登録

国土交通省港湾局が創設した「みなとSDGsパートナー登録制度」に登録されています。



●エコ・ファースト企業へ登録

環境にやさしい事業活動を行っていることを環境大臣に認定されています。



●デコ活宣言へ登録

環境省が展開している新しい国民運動の主旨に賛同し、「デコ活宣言」に登録しました。「デコ活」とは、Co2を減らす脱炭素（Decarbonization）と環境に良いエコ（Eco）を含む「デコ」と、活動・生活を意味する「活」を組み合わせた言葉です。



●ISO14001へ登録

環境マネジメントシステムに関する国際規格に登録しています。（連続19年目）

●環境法令の遵守

環境関連法令遵守に努め、定期的に環境パトロールを実施することで直近の環境関連法令の改正に速やかに対応しています。

2023年度も環境法令違反ゼロを継続しています。

●電子manifestoの活用

manifestoの交付に電子manifestoを活用しています。

紙manifestoと比較してmanifesto未返却の際の督促や紛失がなくなり、適正な処理の実施がおこなえます。また、ペーパーレスによる環境負荷の低減や事務処理の効率化がはかれます。

●電子建退共の活用

建退共の交付に電子建退共を活用しています。

技能労働者の福祉増進と事務負担軽減のため建退共電子申請を導入しました。

退職金手帳への証紙添付や手帳管理が不要になることで事務処理の効率化をはかることができ、就労状況の報告においてCCUSを活用することにより、正確かつ効果的な申請が可能であり、技能労働者の福祉増進がはかれます。

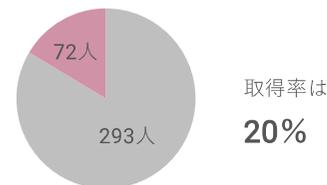
●eco検定(環境社会検定試験)®受験の開始

当社は、今年度より社員の環境保全への意識向上と環境知識の底上げを図るため、東京商工会議所主催のeco検定(環境社会検定試験)®の受験を開始いたしました。

全社員がエコビープル(=検定試験合格者)となることを目標に、2023年度は第一段階として部門長が合格を目指しチャレンジしました。

引き続き、試験対象者を広げ、社内の環境意識向上に努めていきます。

2023年度 取得率 (全社：365人)



全従業員	取得人数	
	部門長以上	一般社員
365人	62人	10人

●scope123勉強会

当社では2023年度より、scope1、2、3の温室効果ガス排出量の算定を実施するにあたり、サプライチェーンにおけるCo2排出量の勉強会、および当社に該当するカテゴリの選定を実施しました。今期データをもとに、排出量の多いカテゴリを選別し、Co2排出抑制の取り組みを検討していきます。

みらいの環境

地球温暖化防止対策

● サプライチェーン排出量（企業活動に関わる全ての温室効果ガス排出量）

当社におけるサプライチェーンを以下のように定め、2023年度からCo2排出量を算定しています。

サプライチェーン	Scope	対象となる活動 (Scope3の丸番号はカテゴリー番号を示す)
自社	Scope1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 (ガソリン・灯油・軽油・ガス)
	Scope2	他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出 (電気代)
上流	Scope3	①現場購入材料 ③エネルギー関連活動 ④輸送・配送(上流) ⑤事業場から出る廃棄物 ⑦雇用者の通勤

● サプライチェーン排出量とは？

原材料調達・製造・物流・販売・廃棄など、一連の流れ全体から発生する温室効果ガス排出量のこと。

『サプライチェーン排出量 = Scope1排出量 + Scope2排出量 + Scope3排出量』として

環境省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」が定義しています。

サプライチェーン排出量は以下の3つのScope(測定範囲)に分類されます。



※環境省HP グリーン・バリューチェーンプラットフォーム より引用

Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

● 2023年度Co2排出量

エコファースト企業として2030年度までにCo2排出量30%削減を約束しています。

当社では今年度より総排出量を測定し、この結果をエコファースト企業の約束の基準値に設定しました。目標を達成するためにサプライチェーン全体で取り組む必要があります。

対象	単位	2023年度実績 (排出量)	目標 (2030年)
Scope1+2	総排出量	t-Co2	559
Scope3			43,455
			391
			30,418

Co2排出量は、算出再確認により数値を変更する場合がございますのでご了承ください。

▼ Co2排出量の内訳

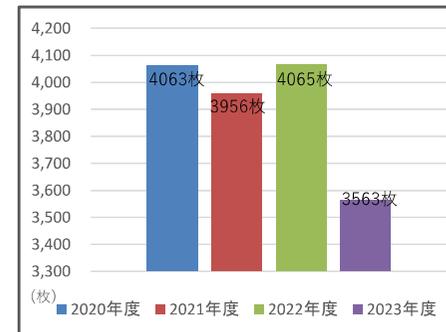
項目	t-Co2	割合
Scope 1	289	51.7%
Scope 2	270	48.3%
総計	559	100%

項目	t-Co2	割合
Scope3		
カテゴリ1 購入した製品・サービス	25,246	58.1%
カテゴリ2 資本財	562	1.3%
カテゴリ3 エネルギー関連活動	8,485	19.5%
カテゴリ4 輸送、配送（上流）	5,184	11.9%
カテゴリ5 事業から出る廃棄物	2,896	6.7%
カテゴリ6 出張	149	0.3%
カテゴリ7 雇用者の通勤	933	2.1%
総計	43,455	100%

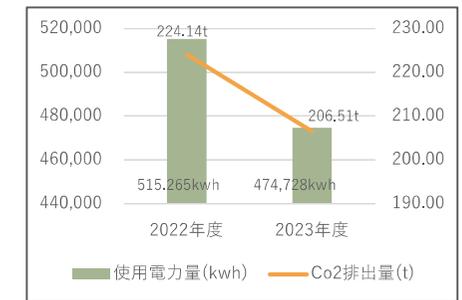
● コピー用紙使用量と使用電力量の推移

日頃からペーパーレスを意識して、省資源化に取り組んでいます。

またオフィス活動における使用電力量は、働きかた改革推進により7.87%削減できました。



▲ コピー使用量の推移 (使用枚数/売上高)



▲ 使用電力量とCo2排出量

みらいの働き方

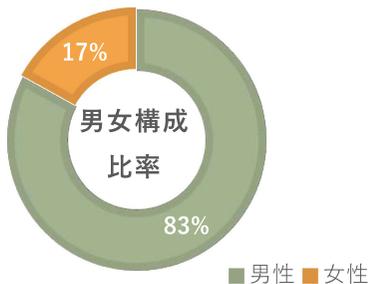
誰もが働きやすい職場づくり

当社では、すべての社員と家族が安心でき、毎日の幸せを実感できる会社を目指しています。



全社員数

365名（2024年4月現在）



外国人の雇用促進

当社では、多様性に富んだ人材の採用をしています。

現場の施工管理や技術開発の部署に在籍しており、個々の強みを活かして活躍しています。

女性の活躍推進

女性の積極的な採用とより活躍できる環境整備に取り組んでおり、施工管理や管理職の女性比率向上に努めています。

▼役員・管理職の女性比率（男女別）

	男性	女性
役員	100.0%	0.0%
管理職	95.8%	4.2%

（2024年3月現在）

外国人雇用者の声

現在入社2年目で、エンジニアリング部に所属しています。会社には働きやすい環境を整えてもらっていると感じています。母国はミャンマーですが、みらいで働く外国人の交流会があり情報交換ができています。

技術本部 Tさん



女性技術者の声

施工管理の仕事をしていく上で、自分の意見を持ち、協力会社との意思疎通を図ることが重要だと思っています。現在は鳥取港で現場代理人をしていますが、いずれは技術支援や技術開発といった、現場を援助する業務に携わりたいと思っています。

施工本部 Iさん



出産・育児・介護世代の支援

様々なライフイベントの変化があっても、新たな気持ちで復帰できる環境づくりに取り組んでいます。

▼育児休業取得者数（男女別）

	男性	女性
育児取得者数	2人	2人
取得対象者数	3人	2人
育児取得率	66.7%	100%

（2024年3月現在）

▼両立支援のための主な制度

出生時育児休業	妊娠中（任意）～ 子の出生後8週間以内のうち4週間（28日）を限度
産前・産後休業	子が1歳2ヵ月に達するまでの期間 （出生日以後の産後休業期間と育児休業期間との合計が1年を限度）
育児休業	出産1ヶ月後～3歳までの期間 （2回まで分割取得可）
育児時短勤務	小学校3年生終了までの期間（1日2時間以内）
介護休暇	（1人の場合）1年間につき5日まで （2人以上の場合）1年間につき10日まで
介護時短勤務	1人につき3年間までの期間
再雇用	定年（満65歳）に到達した者が希望した場合、 原則として希望者全員を70歳まで再雇用する

育休取得者の声

第2子出産の際に育休を2ヶ月取得しました。育休を取得して本当に良かったと思います。子供の出産に立ち会えたこと、産後の妻のサポートをできたこと。貴重な新生児期を一緒に見れたこと。とても幸せな時間を過ごさせていただきました。育休は、上司と同僚のサポートと理解のおかげで安心して取得することができました。とても感謝しています。

施工本部 Iさん



育休取得者の声

総合職で初めて1年以上の育児休業を取得しています。子供が赤ちゃんの期間はあっという間で、その期間に我が子の側にいられることは非常に貴重だと思います。現状、育休経験者の数は多くないので、性別・職種問わず、育休をより取得しやすくなるといいと思います。

管理本部 Uさん



みらいの人材育成

自己成長を続けられる環境整備

社内研修や自己啓発講座の受講費用補助など、多くの支援制度が整っています。

●自己啓発

自己啓発通信教育講座や資格受験費用全額補助、継続学習制度（CPDS）の外部技術講習支援などの制度を利用して自身のキャリアアップ向上に努めることができます。



技術職		事務職	
土木施工管理技士（1級）	165名	建設業経理士（1級）	7名
土木施工管理技士（2級）	31名	建設業経理士（2級）	19名
造園施工管理技士（1級）	11名		
造園施工管理技士（2級）	1名		
技術士（建設）	16名		
コンクリート診断士	11名		
コンクリート技士	51名		
測量士	28名		

▲主な資格等保有社員数（2024年3月現在）

資格サポートを受けた職員の声

土木施工管理技士の資格取得サポートをしてもらいました。同業他社でここまで試験教材を提供してもらえる会社は聞いたことが無く、とても勉強の助けになりました。社内で採点や添削もしてもらえ、市販の書籍で自力で勉強するよりも効率的に取り組むことができたため、無事合格することができました。

施工本部 Sさん



●eラーニングシステム

グループ会社オリジナルのeラーニングシステムを利用しビジネススキル、コンプライアンス、ハラスメント防止、ダイバーシティ等の知識を深め意識の向上と周知徹底に取り組んでいます。

●マスター社員/再雇用制度（技術の継承）

ベテラン社員のキャリアを活かし、活躍しています。長年培った知識や能力を、次世代を担う部下や後輩に継承しています。

マスター社員/再雇用者の声

現在、技術本部で設計業務を担当しています。技術部門での30年を超える経験を活かし、若手社員にOJTを実施しています。これまで培ってきた知識やスキルをアウトプットすることで、自身のスキルアップをはかることもできています。

技術本部 Tさん



●社内研修

新入社員研修をはじめ、技術職については工事係員教育・工事主任教育・作業所長教育、その他BIM/CIM勉強会など生産性向上を目指した勉強会など実施しています。事務職については若手・中堅の2階層に分けた合同研修教育をそれぞれ年1回実施し、知識の底上げを目指した教育をおこなっています。

また外部講師を利用した評価者研修、e-ラーニングなど多様な研修を導入し、社員の知識の向上に努めています。

今後も当社の『みらい』につなげられるよう社員の育成をおこなっていきます。



▲新入社員研修



▲測量実習



▲係員教育



▲内勤者向け研修



▲管理職研修



▲BIM/CIM勉強会

みらいのものづくり

会社の社会貢献

事業を通じて社会に貢献できる企業として使命をもって取り組んでいます。



●事業を通じた地域貢献

当社の技術や環境活動への取り組み内容を共有しながら、外部の方に新たな知見を深めてもらえるような、イベントの出展や講演会に参加しています。

イベント名	EE東北'23	
	日程	2023年6月7日～6月8日
	概要	建設事業に係る新技術を広く公開する場として開催されたイベントに参加し、当社の保有技術である6つの技術や潜水作業施工管理システムについて出展しました。また、「エコ・ファースト企業」として、SDGsをテーマにペットボトルキャップを裁断したものをキーホルダー型枠に入れ、ミニアイロンの熱で溶かしてオリジナルのアクセサリーをつくるワークショップを開催しました。
イベント名	2023年度（第72回）農業農村工学会大会講演会	
	日程	2023年8月29日～8月31日
	概要	愛媛大学城北キャンパス（愛媛県松山市）において、企業展示をおこないました。当社ブースでは、特許やNETISに登録されている保有技術のほか、研究開発中の技術をパネルや模型を使った展示説明、プレゼンにより多くの方に当社の技術力を知っていただける場となりました。
イベント名	Techno-Ocean 2023	
	日程	2023年10月5日～10月7日
	概要	当社の技術を、海洋関連の科学技術に携わる産学官など国内外の関係者が一堂に会す場所でアピールする良い機会となりました。展示ブースでは、実物の展示品や模型を設置したり動画を流したことで、見て楽しめるブースになりました。
イベント名	東京湾大感謝祭2023	
	日程	2023年10月14日～10月15日
	概要	横浜市役所アトリウムで開催された「東京湾大感謝祭2023」に横浜営業支店が出展しました。当社ブースでは、保有技術のほか、環境や再生可能エネルギーへの取り組みに関するパネルを展示し、多くの方に当社の事業活動を知っていただける場となりました。

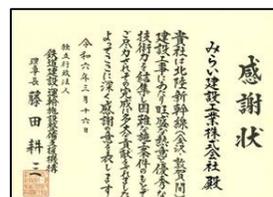
●当社の担当した工事が発注者より感謝状を頂きました

引き続き他の工事施工業者の模範となれる企業を目指し努力していきます。



(2023年6月19日付)

西日本高速道路株式会社 関西支社より、五洋・みらいJVで施工中の「大津ジャンクション東工事」が令和5年1月に発生した大雪に伴う復旧作業において、迅速な対応と創意工夫により高速道路の通行止めの早期解除に多大な貢献をしたとして感謝状をいただきました。



(2024年3月16日付)

(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構より、当社が施工した「北陸新幹線（金沢・敦賀間）建設工事」について、旺盛な熱意と優秀な技術力を結集し、困難な施工条件のもとで尽力し、その完成に多大な貢献をしたとして感謝状をいただきました。

●「優良成長企業」に認定されました

優良成長企業認定委員会より当社が優良成長企業（第10997号）に認定されました。

認定の必要条件としては、次の3点が掲げられています。

- ・社員の失敗を許容し成長への機会をとらえる
- ・仕事を通して人間的な成長を実感できる
- ・仕事で主演、助演として輝ける



●ペットボトルキャップ寄付

中部支店 大井川作業所では、毎年「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」の取り組みに参加しています。この取り組みは、集めたペットボトルキャップを回収業者に買い取って頂き、その買取金額の一部が寄付としてワクチンに生まれ変わり開発途上国の子どもたちへ届けられます。また、買い取られたペットボトルキャップは、リサイクル資源として生まれ変わるという仕組みになっています。



みらいのものづくり

特許の保有状況

当社が保有する、革新的な技術の一部を紹介いたします。

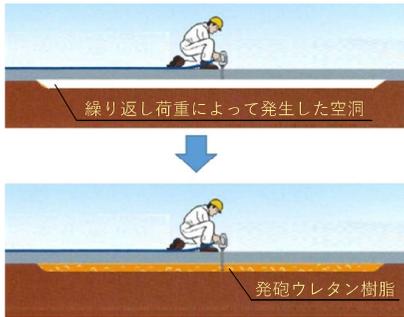


当社HP技術紹介ページへ

①空洞の補修方法（特許 7366335）

本技術は、航空機等の大きな繰返し荷重が作用することで空港等のプレキャストコンクリート版下面に発生した空洞に、1円玉よりも小さい孔をあけて高強度で変形追随性の高い発泡ウレタン樹脂を充填する技術です。

（国土交通省国土技術政策総合研究所、メインマーク(株)との共同開発）



■システムの特徴

使用する樹脂は60分程度で安定した性状が得られることから供用している場所での使用が可能。

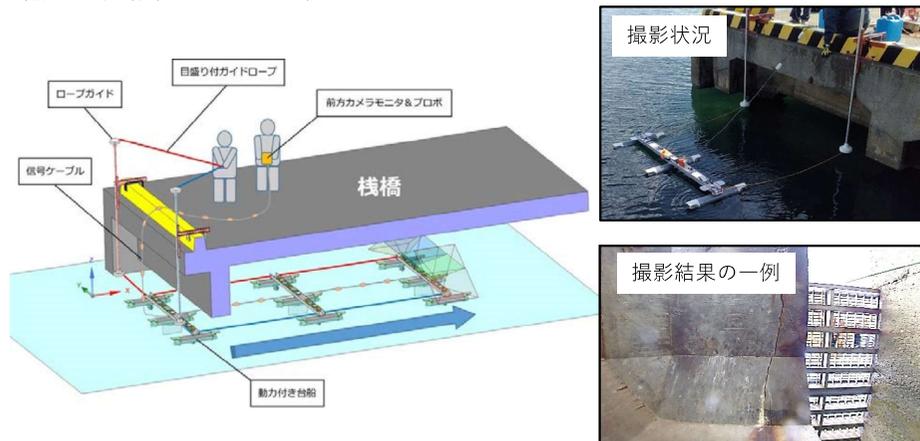
使用する資機材はプラント車両(3トトラック規模)1台に収まることからコンパクトで機動性が高い。

空洞の充填のみならず沈下したプレキャストコンクリート版の高さ修正も可能。

②水上の狭隘空間における撮影装置（特許 7324915）

栈橋の床版と水面との間隔が狭隘な状況下で、床版裏の撮影を行うことを目的とした撮影装置です。コンクリート床版（スラブ）と水面が数十センチと近接している環境下では、電波の伝搬が著しく悪いため、栈橋上部から2本のロープを使用して撮影用プラットフォームをコントロールすることで撮影を可能にしました。床版と水面の間隔は最小15cm程度まで潜り抜けることができ、撮影距離は最小30cm程度になります。

（朝日航洋（株）との共同開発）

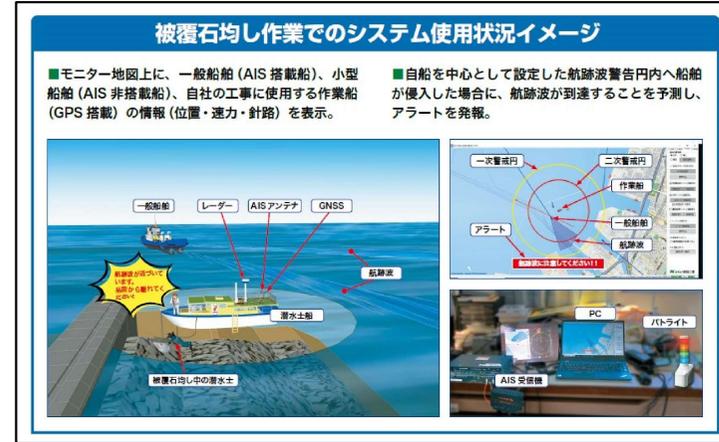


NETIS（新技術情報提供システム）認定状況

国土交通省のNETISに登録された、当社が開発した技術の一部を紹介いたします。

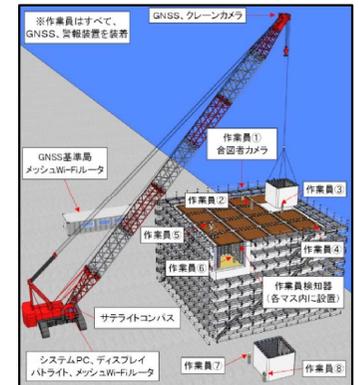
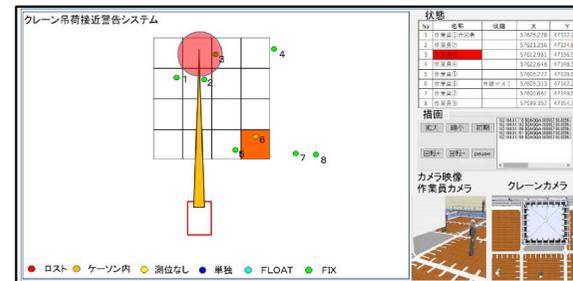
①「MC-Wake」航跡波接近警告システム（NETIS登録番号：QSK-230005-A）

AIS（船舶の動静を自動で識別する装置）、GNSS（全地球航法衛星システム）、レーダーを利用して、航行する船舶による航跡波が工事箇所へ到達することを予測・警告するシステムで、作業船の動揺による様々な事故の発生を防止し安全性が向上します。



②クレーン吊荷接近警告システム（NETIS登録番号：QSK-220003-A）

クレーンの吊荷と作業員の位置を検知し、設定した距離以下に接近した場合、オペレータと作業員に警告して安全性を確保します。作業員装着用に超小型のRTK-GNSS デバイスを開発し、クレーンブームトップにRTK-GNSS を設置することで吊荷と作業員の位置をリアルタイムで高精度に把握できます。クレーンオペレータが目視で把握できない物陰にいる作業員と吊荷の接近を警告したり、吊荷の接近に気づいていない作業員に吊荷の接近を警告して、吊荷の下に入ることを防止することで安全性が向上します。



2023年度 完成工事紹介

●北海道支店



室蘭港祝津地区-11m岸壁改良工事

●東北支店



小名浜港東港地区防波堤(第二沖)基礎工事

●東京支店



令和2年度新海面処分場Dブロック西側護岸遮水・裏埋工事(その4)



砂町開発マリーナ水域埋立・護岸新設工事



令和3年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)東側築造工事



北十間川護岸整備工事(その12)その3



北十間川護岸整備工事(その33)



新本牧ふ頭建設工事(その28・外周護岸B-2基礎及び本體工)



令和4年度 砂町北運河(新砂二丁目)内部護岸建設工事



綾瀬川護岸耐震補強工事(その216)その2



(仮称)豊四季計画 宅地造成工事



(仮称)千葉市美浜区稲毛海岸2丁目A-2街区プロジェクト造成工事



神奈川県横浜市港南区日野中央三丁目計画



(仮称)台東区浅草橋一丁目計画 解体工事



(仮称)東京都杉並区上井草二丁目②計画 宅地造成工事



MOP木更津P11駐車場アスファルト化工事

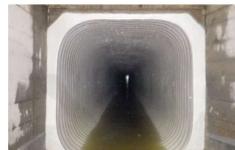


(仮称)東京都墨田区横網一丁目計画 解体工事

●中部支店



岩塚水処理センター放流渠護岸整備工事



第3次中江幹線改築工事



ガーデンふ頭岸壁改良工事



令和4年度名古屋港新土砂処分場埋立護岸基礎工事(その4)

●中部支店



令和4年度 大井川港航路(港口部)埋没対策ほか浚渫工事



北陸新幹線、加賀トンネル(中)



大正区鶴町5丁目 (E-25)堤防工事(その2)



徳山下松港下松地区栈橋(-19m)築造工事(その2)

●中国支店



広島港出島地区岸壁(-12m)地盤改良工事(その3)



令和3年度鹿児島港(谷山二丁目)係留施設築造工事



令和3年度那覇港(新港ふ頭地区)臨港道路(若狭港町線)橋梁仮橋工事



令和4年度志布志港(新若浜地区)岸壁ケーソン製作工事

●九州支店



令和5年度三池港(内港北地区)航路(-10m)浚渫工事



大牟田港航路浚渫工事



令和5年度博多港(箱崎ふ頭地区)航路・泊地(-12m)(改良)浚渫工事



令和5年度佐伯港(女島地区)岸壁(-10m)(改良)上部工撤去工事



NBP栈橋台風被害本復旧工事①



令和5年度別府港(石垣地区)防波堤(改良)築造工事

工事紹介（海上工事）



東京支店



砂町開発 マリナ水域埋立・護岸新設工事

『品質を確保しつつ、
環境にやさしい施工を』



工事部 K所長

■工事概要

「株式会社IH旧砂町工場跡地」に隣接する東京湾マリナの水域の一部を鋼管矢板式護岸を新設して締切り、閉水域を建設発生土等で埋立て、土地を造成する工事。

■工種

土工・本体工・上部工・地盤改良工・圧密沈下促進工・仮設工 等

■工事の特色

この事業は、23,274.48m²の敷地を【都市計画法】の規定に基づく開発行為の許可によっておこなわれている都市型土木工事です。新設護岸の前には隣接する「東京都下水道局 砂町水再生センター」へ繋がる東陽幹線シールド（内径φ6000）が近接しており、近接部の鋼管矢板打設には多段式傾斜計を設置して動態観測をおこないながら施工しました。

■環境配慮

①圧密沈下促進工のエコジオドレーン工法で使用しているドレーン材については、環境に優しい生分解性プラスチックを使用しています。生分解性プラスチック材は、とうもろこしなどの植物を原料としたポリ乳酸から生まれた生分解性素材を使用した製品で、最終的には自然環境下で炭酸ガスと水に分解されます。



▲エコジオドレーン工法

②埋立区域外側のマリナ水域の水質改善として、試験的に海水淡水兼用バイオ資材「アクアリフト1600」を使用しました。定期的に海水を採取し、水質分析もおこないました。

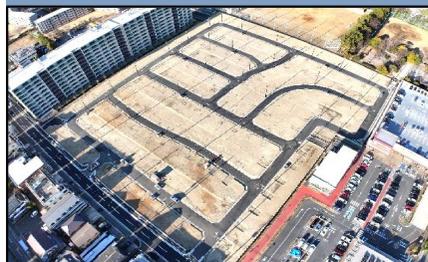


▲バイオ資材投与状況



▲水質分析の実施

工事紹介（陸上工事）



東京支店



(仮称)千葉市美浜区稲毛海岸2丁目 A-2街区プロジェクト造成工事

『低炭素アスファルト舗装を
使用してCO2削減へ』



工事部 W所長

■工事概要

24,795m²の敷地を157区画・集会所1区画に造成する工事。

■工種

土工・擁壁工・雨水排水工・汚水排水工・道路工・宅盤整形・雑工

■工事の特色

この事業は、【都市計画法】の規定に基づく開発行為の許可によって行われている都市型戸建造成工事で、隣接地に商業施設・学校・住宅がある地域でした。

区域内には給水・排水・ガス・電気のインフラの新設と幅6.0mの新設道路を構築しました。新設するインフラ管及び道路構造物及び道路は行政へ帰属するため、当該行政の各管理課へ工事の協議・申請・許可・検査を行いながら行政の品質・出来形を満たす物を作ることが重要でした。

■環境配慮

当工事では中温化アスファルト舗装を使用しました。道路工事に用いるアスファルト合材は、製造・施工温度を170°C程度まで加熱し、大きな熱量を必要としますが、中温化アスファルト舗装は、通常よりも20°C程度低減することができる中温化技術を用いた舗装です。施工性及び品質を確保しつつ、製造温度を低減することにより、使用する燃料消費量が削減でき、CO₂排出量抑制に繋げることができます。この中温化アスファルト舗装は、低炭素アスファルト舗装とも呼ばれています。



▲合材温度確認状況



▲合材温度122°C
(標準は170°C程度)



▲舗装完了全景

工事紹介（河川工事）



中部支店



令和5年度
長良川福原しゅんせつ工事

『全国で唯一の
河川ポンプ浚渫
ICT施工を実施』



工事部 N所長

■工事概要

河川整備計画流量に対応した洪水を安全に流下させるために行う、ポンプ浚渫船を使用した浚渫工事。

■工程

起工測量・浚渫工・排土工 等

■工事の特色

本工事の施工場所は、長良川の河川敷上にあり、水道、ガス、電気の供給がないため、環境に配慮した施設を積極的に活用しています。また、全国で唯一の河川ポンプ浚渫ICT施工を実施し、作業員の労力軽減・作業環境の改善に取り組んでいます。

■環境配慮

下記のようなパネルを作成し、第三者にも環境への取組みを紹介しています。

工事現場におけるSDGsの取組

『ソーラー発電機の使用』

当現場では、現場事務所、仮設トイレ、測定機器および夜間照明施設の電源をソーラー発電で供給しています。

現場事務所

『バイオ燃料発電機の使用』

当現場では、現場事務所の補助電源をバイオ燃料発電機で供給しています。

BDF (バイオディーゼル) は、高品質な大豆メカを原料として製造される、ディーゼルエンジン用のバイオ燃料です。2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが必要とされる中、BDFは、CO₂排出量カウントをゼロとみなされる為、化石燃料の代替燃料として貢献します。

『水道水を使用しません』

当現場では、海水淡水化装置を使用し、浚渫土砂とともに排出された泥水を浄化し、手洗い・トイレの水として使用しています。飲料水として、空気中から水分を補給するウォーターサーバーを使用しています。

海水淡水化装置

ウォーターサーバー

『ハイブリット車の使用』

当現場の元請職員は、ハイブリット仕様のライトバンを使用しています。

工事紹介（陸上工事）



大阪支店



三井ガーデンホテル大阪淀屋橋解体工事

『近隣環境へ配慮した
解体工事』



工事部 T所長

■工事概要

鉄骨鉄筋コンクリート構造物 地下2階付地上15階建 地上高さ：54.1m 延床面積：10,561m²の解体工事。

■工程

解体工・流動化処理土工・舗装工

■工事の特色

本工事の施工場所はオフィス街であり、建物の密集した地域であったため第三者への配慮が重要でした。近隣環境へ配慮するため、低騒音型重機の使用と丁寧な重機操作による騒音振動の防止、Gage system（鳥籠）工法による飛散防止、太陽光発電を利用した現場事務所の設置などによりCo2削減に取り組み施工をおこないました。

■環境配慮

①建物解体工事では、コンクリートガラ等の飛散が重大事故に繋がります。安全対策として、飛散防止養生システム（Cage system）を設置しました。



②建物解体時、内部や通路の仮設照明にLEDライトを使用しました。従来の蛍光灯より電気代、およびCo2排出量の削減に努めることができました。



工事紹介（海上工事）



大阪支店



高知港海岸湾口地区津波防波堤工事

『若手現場代理人の活躍する現場』



工事部 M所長

■工事概要

高知港海岸湾口地区津波防波堤工事（種先側）の本体工及び仮設工を施工する工事。

■工種

ケーソン製作工：2箇

■工事の特色

狭いヤードの中で3工事が一括発注された工事であるため、ヤード内が狭小であり、他社の遅延が当社にも影響が出てしまう懸念があります。連絡・調整を密にしながら施工をおこなっています。

■人材育成の推進・環境配慮

- ・休日の確保を評価する「休日確保評価型」の試行工事です。
- ・「若手技術者を配置」「働きやすい職場環境の整備」及び「担い手育成活動を実施」について評価する工事であり、実施した場合には工事成績評価の加点が得られます。



工事部 I現場代理人

ソーラーハウス・快適トイレ・外部向け工事概要看板の設置を行っており、環境整備にも努めています。



▲ソーラーハウス



▲快適トイレ



▲外部向け工事概要看板



工事紹介（陸上工事）



中国支店



山陽自動車道 吉備スマートインターチェンジ改築工事

『吉備スマートIC 24時間化・大型車対応へ改築』



工事部 O所長

■工事概要

山陽自動車道 吉備スマートインターチェンジの改築を行う工事。

■工種

土工・法面補強工・補強土壁工・地盤改良工・アーチカルバート工・排水工・舗装工

■工事の特色

山陽自動車道 吉備スマートインターチェンジの改築を行う工事です。現在の仕様は一般市道より小型車限定で6：00～22：00の時間指定利用となっているが、改築工事で車両種類の制限が無くなり24時間利用が可能となります。新しく完成する国道180号(総社・一宮バイパス)にも接続することにより渋滞解消効果が期待されます。

■環境配慮

- ①ソーラー式の定点カメラの設置や職員の業務車両をハイブリット式にすることで、Co2排出量削減に取り組んでいます。



▲ソーラー式定点カメラの設置



▲ハイブリットカーの使用

- ②発注者パトロール時や新規入場者教育、社内の現場見学会等、工事関係者に説明するための工事概要看板の設置をおこなっています。



▲協力業者役員パトロール状況



▲工事関係者向け概要看板の設置

工事紹介（陸上工事）



九州支店



令和4年度 大分空港用地造成
(排水施設改良) 工事

『Co2排出量の削減に
積極的に取り組んだ
排水施設改良工事』



工事部 A所長

■工事概要

大分空港用地の排水施設の改良工事。

■工種

仮設工、排水工、貯水槽工、推進工、構造物撤去工 他

■工事の特色

排水不良や能力不足になっている排水施設の改良をおこないました。空港での施工のため飛行予定のない夜間に工事をおこなうので各作業の工程管理が重要な工事です。



▲φ800の推進工事

■環境配慮

地域環境に配慮し、低燃費型重機・太陽光利用バルーンライト・バイオディーゼル燃料を使用する発電機（低騒音型）など使用し、Co2削減施工をおこないました。



▲バイオディーゼル発電機



▲ハイブリッド型バックホウ



▲バッテリー式LEDバルーン投光器



工事紹介（環境保全対策工事）



九州支店



令和5年度 汚濁防止膜設置等工事

『日本の豊かな海を守る
環境保全工事』



工事部 Y所長

■工事概要

福岡県有明海地先のり養殖区画にある汚濁防止膜の設置・撤去を行う工事。

■工種

汚濁防止膜設置・撤去工 他

■工事の特色

本工事は、日本の豊かな海の環境を守るためにおこないます。汚濁防止膜とは、海洋を主とする公有水面での浚渫工事や埋立工事等において、発生する汚濁の拡散を防止するために設置されます。

■環境配慮

工事の実施にあたっては、周辺環境への影響を最小限に抑えるよう工夫しています。また、廃棄物抑制、省エネルギー、関係者の環境配慮意識の向上などに努めています。



▲汚濁防止膜設置状況



▲汚濁防止膜撤去状況



▲汚濁防止膜設置完了

事業所一覧

本社：〒108-0014 東京都港区芝四丁目6番12号
TEL:03-6436-3710 FAX:03-6436-3736

北海道支店：〒060-0051 北海道札幌市中央区南一条東一丁目2-1 太平洋興発ビル
TEL:011-221-1292 FAX:011-251-6953

東北支店：〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町二丁目2番3号 鹿島広業ビル
TEL:022-713-8016 FAX:022-713-8019
青森営業所：〒039-1161 青森県八戸市河原木字北沼51番地
TEL:0178-21-2045 FAX:0178-28-0549

東京支店：〒108-0014 東京都港区芝四丁目9番4号 芝浜ビル
TEL:03-6400-3111 FAX:03-6400-3112
茨城営業所：〒310-0803 茨城県水戸市城南一丁目7番27号
TEL:029-306-9527 FAX:029-306-9528
多摩営業所：〒197-0827 東京都あきる野市油平98番地
TEL:042-533-3156 FAX:042-533-3157
千葉営業支店：〒260-0032 千葉県千葉市中央区登戸一丁目23番16号 六羊ビル
TEL:043-302-5755 FAX:043-302-5760
横浜営業支店：〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通四丁目20番地 F.bid みなとみらい
TEL:045-681-2641 FAX:045-681-1506
北陸営業支店：〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山二丁目4番1号 木山第3ビル
TEL:025-246-1336 FAX:025-246-1337
能登営業所：〒926-0044 石川県七尾市相生町63番4 木谷ビル
TEL:0767-58-5355 FAX:0767-58-5377

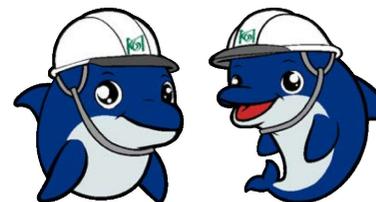
中部支店：〒454-0804 愛知県名古屋市中川区月島町6番1号
TEL:052-618-8791 FAX:052-369-1276
静岡営業所：〒421-0204 静岡県焼津市高新田278番3号
TEL:054-622-1122 FAX:054-622-1642

大阪支店：〒531-0075 大阪府大阪市北区大淀南一丁目4番15号
TEL:06-6453-6931 FAX:06-6453-6932
神戸営業所：〒658-0026 兵庫県神戸市東灘区魚崎西町三丁目4番3号
TEL:078-262-1532 FAX:078-262-1533

中国支店：〒730-0037 広島県広島市中区中町9番12号 中町三井ビル
TEL:082-240-2020 FAX:082-247-9080
四国営業支店：〒760-0007 香川県高松市中央町11番12号
TEL:087-863-6050 FAX:087-863-6051

九州支店：〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町10番1号 博多三井ビル
TEL:092-262-8020 FAX:092-262-8025
北九州営業所：〒802-0081 福岡県北九州市小倉北区紺屋町4番6号 北九州第一ビル807号
TEL:093-541-1610 FAX:093-541-1633
有明営業所：〒836-0067 福岡県大牟田市四山町1番
TEL:0944-53-1027 FAX:0944-51-2398
沖縄営業所：〒900-0002 沖縄県那覇市曙3丁目7番1号
TEL:098-861-1602 FAX:098-868-7382

『みらいるか』



ご意見やお問合せ先

CSR委員会事務局
〒108-0014 東京都港区芝四丁目6番12号
TEL:03-6436-3716 FAX:03-6436-3741

コーポレートサイト



公式YouTubeチャンネル

